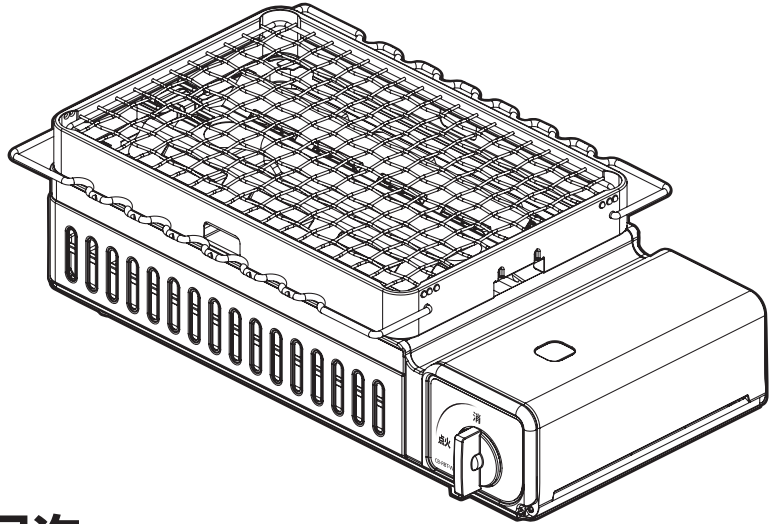


ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

一般家庭用

取扱説明書

イワタニカセットグリル 炉ばた大将 炙家(あぶりや)W CB-RBT-W



このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。そして大切に保管してください。
【保証書付：裏表紙が保証書になっています】




目次

- 1. 各部の名称、特長、仕様 …………… 1
- 2. 特に注意していただきたいこと …………… 2~3
- 3. 使用方法 …………… 4~5
- 4. 日常の点検・お手入れ、故障・異常時の処置 …………… 6
- 5. アフターサービス、保証書 …………… 裏表紙







本製品は一般家庭でご利用いただくものです。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本製品の焼損のおそれがあります。この取扱説明書に記載されている内容にしたがって、正しくご使用ください。

〈ご使用の前に〉

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

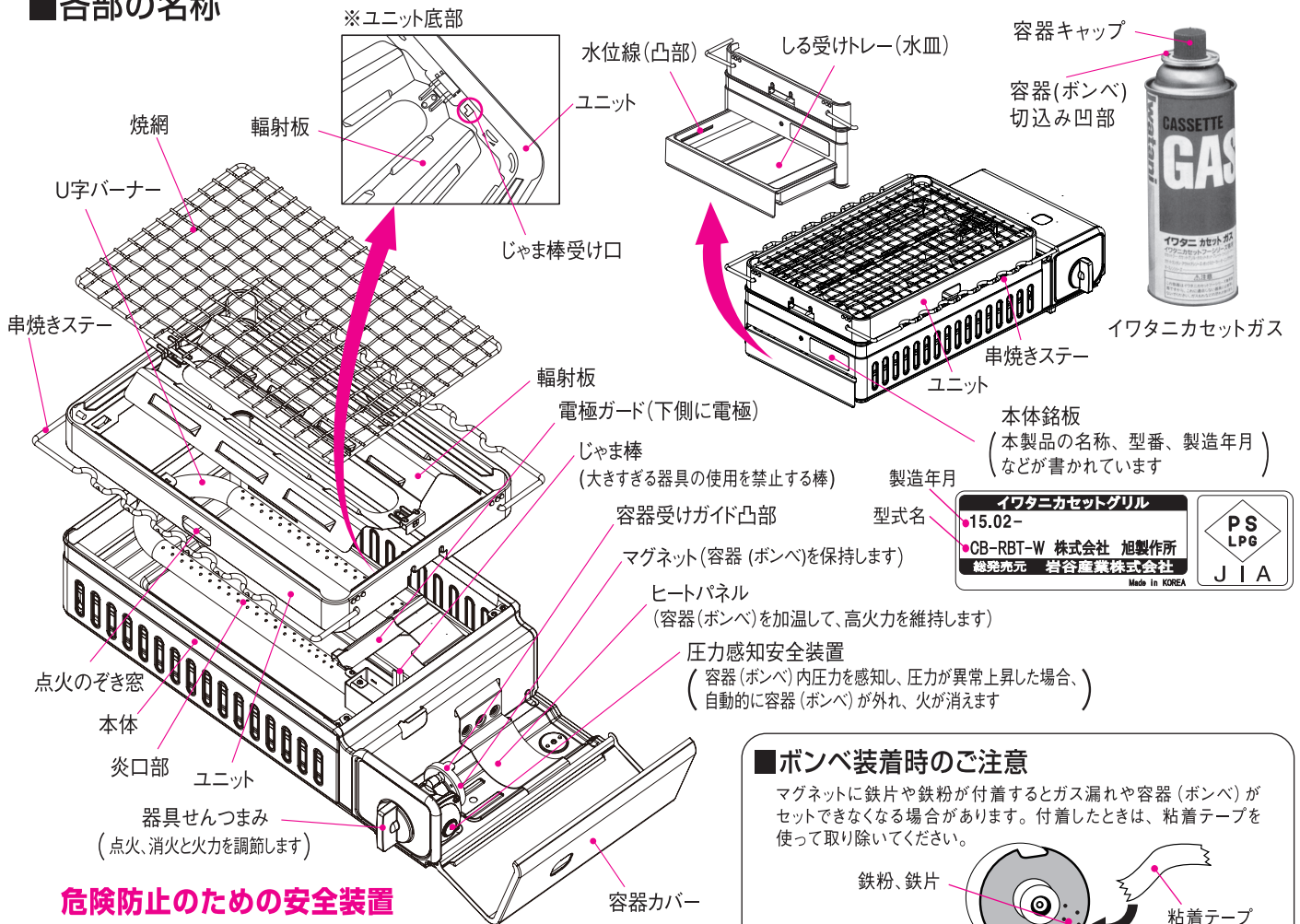
〈絵表示には次のような意味があります〉

-  一般的な危険・警告・注意
-  必ず行う
-  一般的な禁止
-  火気禁止
-  接触禁止
-  分解禁止

Iwatani

1. 各部の名称、仕様、特長

■各部の名称



■ボンベ装着時のご注意
 マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れや容器(ボンベ)がセットできなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。

容器(ボンベ)装着時にマグネットに付着物がないか確認してください。

危険防止のための安全装置

[1] 圧力感知安全装置

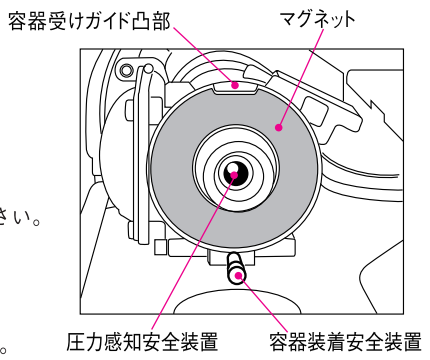
容器(ボンベ)が過熱され容器内の圧力が異常上昇したときに、自動的に容器(ボンベ)がはずれ、ガスの流れが止まり、バーナーの火を消す装置です。

圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

- ① 器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。
- ② 容器(ボンベ)を本製品から取り出してください。
- ③ 「特に注意していただきたいこと」をよく読んで、原因を取り除いてください。
- ④ 新しい容器(ボンベ)をセットしてください。
 [新しい容器(ボンベ)がない場合には、外した容器(ボンベ)を水で冷やしてからセットしてください。
冷やさないと、再び容器(ボンベ)が外れることがあります。]
- ⑤ 点火してください。もとどおり正常に使えます。

[2] 容器装着安全装置

器具せんつまみが「消」になっていないと、容器(ボンベ)が装着(セット)できないようにした安全装置です。



■主な仕様

機種名	イワタニカセットグリル 焔ばた大将 炙家W
型式	CB-RBT-W
点火方式	圧電点火方式
安全装置	圧力感知安全装置(容器離脱型) 容器装着安全装置
最大外形寸法(使用状態)	409mm(幅)×214mm(奥行)×131mm(高さ)
本体重量	約2.4kg
使用ガス	ブタンガス
最大発熱量(ガス消費量)	2.3kW(2000kcal/h相当、169g/h) <気温20~25℃>
連続燃焼時間	イワタニカセットガス使用時:約90分 <最大火力で新品容器(ボンベ)を全て使用した時の実測値。気温20~25℃>
使用容器(ボンベ)	イワタニカセットガス

2. 特に注意していただきたいこと

① 容器(ボンベ)の過熱禁止について

下記のような使い方は容器(ボンベ)が過熱し、爆発の原因となりますので絶対にしないでください。また、圧力感知安全装置の作動を招く原因となります。



警告

本製品には、**付属の調理器具以外**はご使用にならないでください。思わぬ火災、焼損等の事故になるおそれがあります。

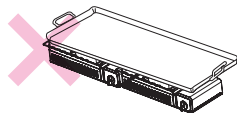
1) 容器カバーを覆ってしまう大きな器具を載せない



本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



2) 2台以上並べて使用しない



本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



●2台以上並べての使用は非常に危険ですので、絶対におやめください。

3) 調理以外の用途には絶対に使用しない

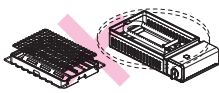


輻射熱により、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



●調理以外の用途(木炭、練炭などの火起こし等)に使用しないでください。

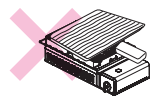
4) ユニートを外して付属の調理器具以外のものは使用しない



本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



5) セラミック付焼肉器、鑄物網、金網、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器・魚焼き器、輻射熱の強い調理器具等は絶対に使用しない。またアルミホイルなどで、ユニットや焼網等を覆って使用しない



輻射熱により、本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。

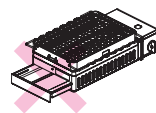


6) しる受けトレイ(水皿)に水が入っていない状態では使用しない

予期しない過熱によって、容器(ボンベ)が爆発するおそれがあります。



7) しる受けトレイ(水皿)が奥まで差し込まれていない状態で使用しない



使用時は必ずしる受けトレイ(水皿)に水を入れ、奥まで差し込んでください。水が入っていない状態、しる受けトレイ(水皿)が奥まで差し込まれていない状態で使用すると容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。



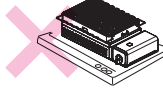
8) 石や砂、陶器などを使った焼きイモ器を使用しない



本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



9) 他の熱源(電気調理器、魚焼きグリルの排気口、電磁調理器、等)の上で、使用や保管をしない



間違って電源が入ると、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。



10) 火気の近くでは使用しない

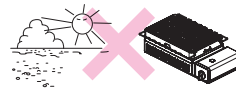


火気からの輻射熱により、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



●火気から2m以上離して使用してください。

11) 容器(ボンベ)が過熱する場所では使用しない



容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



●夏の砂浜、砂利、アスファルトなど日光によって容器(ボンベ)が過熱するような場所では使用しないでください。

12) 強い風のところでは使用しない



強い風のところで使用すると、バーナーの炎が本体に巻き込み、事故や本体焼損の原因になります。



② 使用場所についてのご注意



警告

次のような場所では、火災の原因となりますので使用しないでください。

1) 狭い場所や換気の悪い場所

テント内や車内など狭い場所では絶対に使用しないでください。使用中は酸素を大量に消費するため、**酸欠**による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。



2) 引火物(ガソリン、灯油、予備の容器(ボンベ)やヘアースプレーなど)が近くにある場所

引火による爆発のおそれがあります。



3) カーテンなどが触れる場所や燃えやすいもの、熱に弱いものそば

引火による火災のおそれがあります。



4) 接地面が安定していない場所

使用中に本製品を傾けたり大きく動かすと、炎が大きくなることがあり、やけどや火災のおそれがあります。



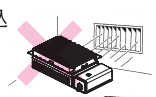
5) 棚の下など落下物の危険がある場所

引火や調理器具の転倒によるやけどのおそれがあります。



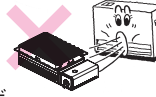
6) 風の吹き込む場所や風を吸い込む場所

風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体やテーブルをこがすことがあります。



7) 熱気のある場所

過熱により爆発するおそれがあります。



8) 底が砂や小石などで埋まる場所

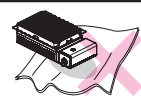
放熱が悪くなり、本体が焼損したり、容器(ボンベ)が過熱して、爆発するおそれがあります。



注意

1) タタミ、ジュウタンや熱に弱いものの上では使用しない

変形や変色する場合があります。



2) 本製品の底部から空気や煙を吸い込む場所(無煙ロースター付きのテーブル等)では使用しない

異常燃焼のおそれがあります。



3) 不安定な場所では使用しない

本製品が転倒するおそれがあり危険です。足場が安定した水平な場所でご使用ください。



2. 特に注意していただきたいこと

③ 容器(ボンベ)の取扱いについて

- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項を、必ずお読みください。
- 使用時は容器キャップをはずし、保管のときは容器キャップを押し込んで装着してください。



警告

火災や爆発事故などの危険がありますので、次のことを必ずお守りください。

1) 火気や直射日光を避ける

火気や直射日光(室内や車内の窓際なども含む)を避けて容器キャップをはめてから風通しがよく湿気の少ない40℃以下の場所で保管してください。また使用後は容器(ボンベ)を本製品から取りはずし、同様の場所に保管してください。



2) 完全に使い切ってから廃棄する

- 使用済み容器(ボンベ)は、必ず完全に使い終わってから地域の取り決めに従って分別廃棄してください。容器(ボンベ)にガスが残っていますと清掃車の火災などのおそれがあります。
- 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする場合には、まだガスが残っています。



3) 熱気のある場所に放置しない

容器(ボンベ)はファンヒーターやオーブントースターなど熱気を発生させる器具の周囲や、熱気のある場所に放置しないでください。熱で容器(ボンベ)内の圧力が上がり、爆発の原因になります。



4) 容器(ボンベ)は火中に投げない

容器(ボンベ)は火中に投げないでください。火中に投入すると爆発し危険です。



注意

1) 専用容器(ボンベ)を使用する

容器(ボンベ)は、必ず「イワタニカセットガス」の表示のある専用容器(ボンベ)を使用してください。他の容器(ボンベ)を使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。

2) 落下の可能性がある場所で容器(ボンベ)を保管しない

落下による破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

3) 容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない

落下による衝撃などで破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

4) 変形のある容器(ボンベ)は使用しない

ガス漏れの原因となります。

5) 吸引危険

容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まないでください。酸欠により窒息死する原因となります。

6) 容器(ボンベ)は錆の無いことを確認して、製造日(缶底に西暦年月日で印字)から6~7年を目安に使い切ってください。

④ 火災事故、ガス事故防止のために

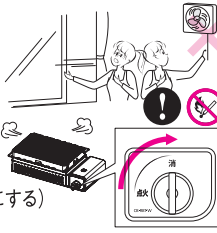


危険

火災予防、ガス事故防止のために。

● ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す

ガスが漏れるとガスのニオイ(くさった玉ねぎのようなニオイ)がします。ボタンガスは空気より重く下部にたまりますので、電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないで、すぐに次の処置を行ってください。(引火により爆発のおそれがあります)



- ① 直ちに火を止める。(器具せんつまみを「消」の位置にする)
- ② 容器(ボンベ)をはずす。
- ③ 窓や戸をあけて漏れたガスを外に追出す。(換気扇は使用しないでください)

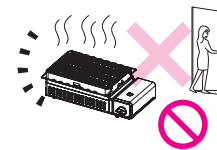


警告

火災予防、ガス事故防止のため、次のことをお守りください。

1) 火を付けたまま側を離れない

火を付けたまま外出など、本製品のそばを離れたり、就寝したりしないでください。電話や来客などの場合も、火を消してください。

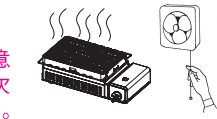


2) 子供だけで使わせない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。

3) 使用中は換気をする

ご使用と同時に換気扇を回すなど換気に十分に注意してください。長時間しめきった部屋で使用すると酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。



4) 絶対に改造・分解は行わない

分解は一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの思わぬ事故や故障・火災の原因になります。

5) 一度で点火しなかった場合は引火に注意する

再点火の際は、ガスのにおいがなくなったことを確認してから行ってください。溜まったガスがあると引火する危険があります。



6) 引火のおそれのあるものを近くで使用しない

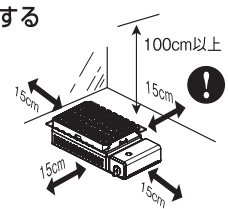
ヘアースプレー、ガソリン、灯油など、引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。



注意

1) 防火上必要な距離をとって設置する

使用の際には家具や壁(木造建築)などの可燃物から周囲15cm以上離してご使用ください。本製品上方と、可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100cm以上離してください。



2) 塗装、うるし塗りなど熱に弱い

テーブルの上でご使用のときは不燃性の断熱材を本製品の下に敷いてください。(使用中の本製品の底部はたいへん熱くなっていますので十分ご注意ください)

3) 火のついたまま傾けたり、移動させない

転倒するとやけどや火災の原因になります。

4) バーナー付近に顔や手を近づけない

炎によりやけどのおそれがあります。

5) 使用中および消火後しばらくは本製品に触れない

使用中および消火直後の本製品は高温になっています。しばらくは器具せんつまみ以外には手を触れないでください。

6) 本製品の下に燃えやすいもの、熱に弱いもの(テーブルクロス、ビニールクロス、新聞紙など)を敷いたり、通気の妨げになるものを置かないでください。

7) 本製品を衣類の乾燥やストーブの代わりに使用しない

衣類が落下するなど、火災の原因となります。



8) 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も時々、正常に燃焼していることを確かめください。



9) あまり炎が小さすぎると、風で消されることがありますのでご注意ください。

10) ご使用の有無にかかわらず、古くなった本製品は、安全のためご使用前に点検(有償)をおすすめします。

※ 部品保有期間が過ぎた製品は、修理ができない場合もあります。

3. 使用方法

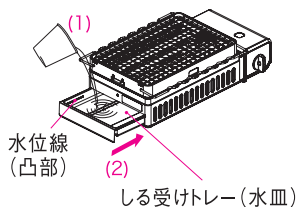
■ご使用前に必ず、ガス漏れ、消火、点火の確認をしてからご使用ください。

■使用場所および周囲の防火処置

2 ページに記載されている使用禁止の場所や状態でないこと及び、3 ページに記載されている防火上必要な距離がとられていることを確認してください。

■使用前の準備と確認

- 1) しる受けトレー（水皿）を引き出して、水位線（水皿内側側面の凸横線）まで水を入れてください。（分量は水位線（凸部）までで、目安として約 700cc です）
- 2) しる受けトレー（水皿）を矢印方向に、奥まできちんと差し込みます。
- 3) ユニットに輻射板を取り付けます。（下枠内図、参照）
- 4) ユニットの取り付けは、ユニットのじゃま棒受け口にじゃま棒を通し、本体四隅に合わせてセットします。
- 5) 焼網をユニットに取り付けます。



■ご使用前に下記の注意事項をよくお読みください。

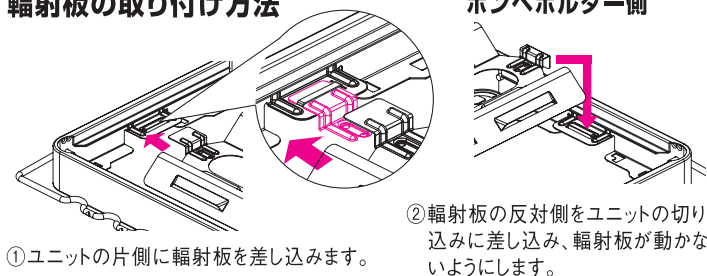
- 警告** ●使用前には、必ずガス漏れの確認、点火、消火の確認をしてからご使用ください。
- 故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。

- 注意** ●器具せんつまみが「消」の位置にないと容器装着安全装置（1 ページ参照）が働き、容器（ボンベ）が装着できません。

しる受けトレー（水皿）に関する注意

- 警告** ●使用時は、しる受けトレー（水皿）に水を入れ、必ず奥まで差し込んでください。しる受けトレー（水皿）に水が入っていなかったり、奥まできちんと差し込まれていなかったりすると容器（ボンベ）が過熱され爆発するおそれがあります。
- 使用中は常に水のある状態を保ってください。水が無くなるとしる受けトレー（水皿）にたまった脂や調理物が燃えて、火災や容器（ボンベ）爆発のおそれがあります。
- 長時間使用の場合は、1 時間を目安にしる受けトレー（水皿）にたまった脂や調理物を取り除き、再び水位線（凸部）まで（目安として 700cc）必ず注水してください。しる受けトレー（水皿）は高温になっています。必ず、耐熱の手袋をご使用ください。
- しる受けトレー（水皿）に水以外のものは、絶対に入れないでください。
- ご使用後はしる受けトレー（水皿）のお手入れを必ずしてください。しる受けトレー（水皿）にたまった脂が過熱されて発火するおそれがあります。

輻射板の取り付け方法



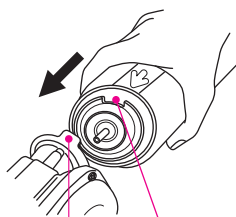
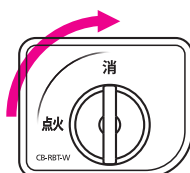
①ユニットの片側に輻射板を差し込みます。

②輻射板の反対側をユニットの切り込みに差し込み、輻射板が動かないようにします。

- 注意** 輻射板の取り付け、取り外しや清掃のときは、手、指の保護のためにゴム手袋などをご使用ください。

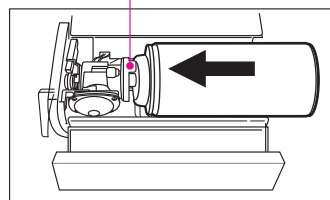
容器（ボンベ）の取り付け

- 1) しる受けトレー（水皿）が正常に取り付けられているか確認してください。
- 2) 容器カバーを開けてください。
- 3) 器具せんつまみを「消」の方向へ止まるまで回してください。
- 4) マグネットに異物が付着していないか確認してください。
- 5) 容器（ボンベ）の容器キャップをはずしてください。
- 6) ヒートパネルに容器（ボンベ）を載せ、この容器（ボンベ）の切込み凹部を本体の容器受けガイド凸部に合わせます。そして、右のイラストのように手を添えて、そのまま水平にスライドさせ、完全にマグネットに密着するまで押しつけて装着します。

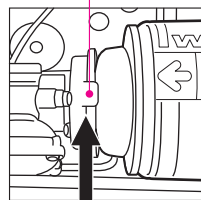


容器受けガイド凸部

切込み凹部



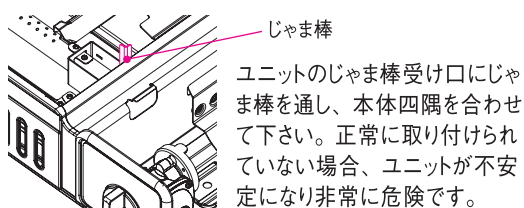
イワタニカセットガス使用時



マグネットと容器（ボンベ）の間にすきまがないように確実に取り付けてください。

- 7) 容器（ボンベ）を装着したら容器カバーを閉じてください。

ユニットの取り付け方法



- 警告** ●容器（ボンベ）を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。

- 注意** ●容器（ボンベ）の取り付け（装着力）が重い場合には、容器（ボンベ）の先端（左図 A）に植物油を薄く塗布個所

気温が低いときや連続して使用されるときは、暖かい場所で保管した「イワタニカセットガス」の使用をお勧めします。

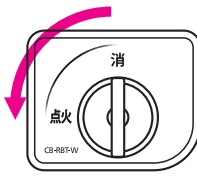
3. 使用方法

■ご使用前に必ず、ガス漏れ、消火、点火の確認をしてからご使用ください。

■使用方法

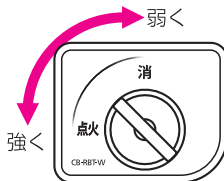
1. 点火する

●器具せんつまみを点火方向に「カチッ」と音のするまで回し、点火したことを点火のぞき窓で確認してください。点火しない場合は、器具せんつまみをすぐに「消」位置まで戻し、繰り返し点火をしてください。



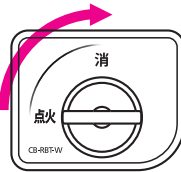
2. 火力を調整する

●つまみを「点火」方向に回すと火力を強く、「消」方向に回すと弱くすることができます。とろ火にする場合は必ず炎を確認してください。とろ火の場合、炎が見えにくくなります。



3. 消火する

●器具せんつまみを「消」方向に止まるまで戻し、消火してください。

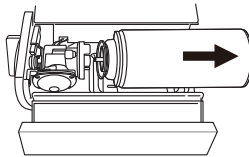


4. 使用後の確認

- 使用後は、完全に火が消えたことを確認してください。
- 使用後は、必ず容器（ボンベ）を取りはずしてください。
※消火直後は本体・容器（ボンベ）とも熱くなっていますので、しばらくたってから容器（ボンベ）を取りはずしてください。
※容器（ボンベ）を取りはずさないで、器具の故障やガスが漏れるおそれがあります。

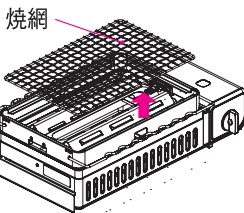
5. 容器（ボンベ）を取りはずす

- 容器カバーを開け、容器（ボンベ）を持って取り付ける時と逆の方向に、少し力を入れて水平にスライドさせてマグネットから取り外します。
- 取り外した容器（ボンベ）は必ずキャップをして保管してください。
- 容器（ボンベ）を取りはずしてから容器カバーを閉じてください。

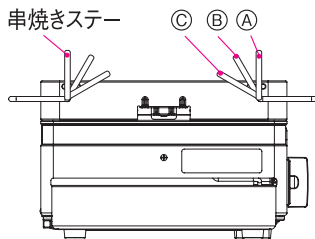


■串焼きステーで使用する

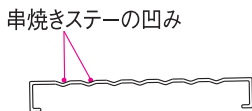
1) 焼網を本体から取り外します。



2) 串焼きステーを持ち上げお好みの位置にセットします。串の長さにより、串焼きステーの位置を右図(A)②(C)から選んでください。



3) 串焼きステーの凹みは串置きを目安としてご使用ください。



※串焼きで使用される場合、串が熱くなりますのでやけどにはご注意ください。

- 焼けるのが遅いときは次のようにしてください。
- ・串焼きステーを(C)の位置に倒してご使用ください。
- ・常温(20~30℃程度)の容器(ボンベ)と交換してください。

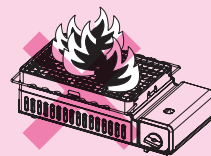
■ご使用前に下記の注意事項をよくお読みください。

注意 ●点火の際は必ず「輻射板」をユニットに取り付けてから、点火操作をおこなってください。
●点火操作が早すぎるとバーナー内にガスが十分行きわたらず着火しにくくなります。
※輻射板の取り付け方法は取扱説明書の4ページをご参照ください。

警告 ●未点火の状態つまみを「消」以外の位置にしておくでガスがもれて非常に危険です。
●使い始めのときや、容器（ボンベ）の温度が高いときには点火しにくい場合があります。注意しながら数回、点火操作を繰り返してください。
※点火ミスにより繰り返し点火操作をした場合、「ポッ」という音がして少し炎が上がる場合があります。点火操作を行う場合は、顔や手をバーナーに近づけないでください。
●点火したときに、バーナーより炎が離れて燃焼しているときがありますが、異常ではありません。2~3分間、器具せんつまみを少し絞って使用してください。

警告 ●使用後は容器（ボンベ）を必ず本製品から取り外してください。

警告 ●炎があがり続けるような使用は絶対にしないでください。



●炎があがり続けた場合は、**ただちに器具せんつまみを「消」にし、やけどに十分注意しながら容器(ボンベ)をはずし炎から遠ざけてください。**
●炎が消えない場合は、濡れた大きな布やタオルでゆっくりと製品全体を覆い、空気を遮断して消火してください。

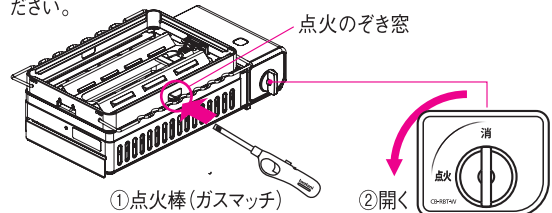
- 脂身を多く含んだ肉類や魚を大量に焼きつづけると、落ちた脂で炎が大きくなる場合がありますので、このような使い方は絶対にしないでください。
- 使用中にする受けトレイ（水皿）の水の量が少なくなりましたら、補給してください。しる受けのトレイ（水皿）は高温になっています。必ず、耐熱の手袋をご使用ください。

注意 ●万一異常音、異常臭、赤火などを起こした時や緊急の場合は、あわてず器具せんつまみを「消」にして消火し、容器（ボンベ）を本体から取りはずして取扱説明書の6ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」を参照し、指示に従ってください。

注意 ●容器（ボンベ）を取りはずした後も、本製品の配管には少量のガスが残っています。危険防止のため、もう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。

■アドバイス

使い始めのときや、容器（ボンベ）の温度が高いときには点火しにくい場合があります。この様な場合は、点火棒（ガスマッチ等）を点火のぞき窓に挿入し、**点火棒に着火してから器具せんつまみを点火方向に徐々に回して、U字バーナーの両側に点火してください。**



4. 日常の点検・お手入れ、故障・異常時の処置

■点検・お手入れの際のご注意 日常の点検、お手入れは必ずおこなってください。

点検	手入れ方法	ご注意
汚れの有無	固く絞った布で汚れをふき取ってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤でお手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。	水気や汚れを放置すると故障や錆の原因になりますので、常に内外をきれいにしておいてください。お手入れの際は、電極を動かさないでください。
バーナーの目づまり	ブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。(このとき、電極の位置を動かさないようにしてください。)	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。バーナーはつねにきれいにしておいてください。
電極の汚れ (点火しなくなった場合)	電極の汚れは、乾いた布で力を加えず、軽くふき取ってください。	点火不良の原因となります。お手入れのとき、器具せんつまみを点火方向に操作すると感電することがあります。
本体・容器 (ボンベ)の汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤でお手入れした後、乾いた布で十分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つける恐れがあります。また、ナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体や容器(ボンベ)を傷つけます。

⚠️ 注意

- 手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
- 本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、錆の原因となります。
- 点検・お手入れの前には、必ず容器(ボンベ)を取り外してください。
- 点検、お手入れは本製品が冷えてからおこなってください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください。

●ご使用の有無にかかわらず、古くなった製品は、安全のためにご使用前に点検修理をご依頼ください。

■長期間使用しないとき

- 各部が汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 本製品の各部が十分冷えてから、梱包箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
- 本製品に容器(ボンベ)をセットした状態のままでは絶対に保管しないでください。別々に保管してください。
- 本製品は、ときどき点検して、錆びたりしないように、お手入れをおこなってください。

■故障・異常の見分けかたと処置方法 故障かな?とおもったら、次のことをお調べください。

原因	現象										処置方法		
	点火しにくい	点火しない	バーナーに火移りしない	黄炎で燃える	炎が安定しない	炎が不揃い	火力が弱い	ガスのおいがする	使用中に消火した	消火しない		容器(ボンベ)がセットできない	器具せんつまみを「消」にしてもガスがもれる
他社容器(ボンベ)を使用している	●							●			●	●	イワタニ専用容器(ボンベ)を使用する
ガスが少なくなっている	●							●					新しい容器(ボンベ)に取り替える
ガスがなくなっている		●	●						●				新しい容器(ボンベ)に取り替える
電極部の汚れ・水分の付着	●	●											汚れ・水分をふきとる
バーナーの炎口部、目づまり	●	●	●	●	●	●	●						金属ブラシなどで、目づまりを取り除く
点火操作が適切でない	●	●						●					正しい点火操作をする
ガス導管(ノズル)がつまっている	●	●	●	●	●	●	●		●				点検修理を依頼する
器具せんつまみの故障	●	●							●		●	●	点検修理を依頼する
圧力感知安全装置が作動		●								●	●		1ページの「圧力感知安全装置が作動したときの処置方法」に従って復帰させる
点火装置の故障		●											点検修理を依頼する
器具せんつまみが全開でない								●		●			器具せんつまみを全開にする
器具せんつまみが「消」になっていない											●		器具せんつまみを「消」にしてセットする
容器(ボンベ)のセット不良		●							●		●	●	容器(ボンベ)の容器ガイドを正しくセットする
マグネットに鉄片、鉄粉が付着											●		粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除く
本体が変形している(歪み)											●		点検修理を依頼する

■このような時は故障(異常)ではありません

本製品を使用中に次のような症状が起きましたら故障ではありません。処置方法を参考に対処してください。

現象	原因	処置方法
<ul style="list-style-type: none"> ●電極からバーナーに火花が飛ばないで遠くところに飛んでいる。 ●急に火花が飛ばなくなった。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 電極とバーナーとの間隔がずれています。 2) 電極の白い部分(セラミック)に水滴が付着しているか汚れています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電極とバーナーとの間隔がずれると火花が飛ばなくなったり、別の方向に飛んで点火不良になります。火花の飛ぶ方向を調節してください。 ●水分、汚れにより漏電しています。取り除くとなおります。
<ul style="list-style-type: none"> ■使用中、容器(ボンベ)にガスが残っているのに火が消えた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 異常な使用のために容器(ボンベ)の温度が高くなって、圧力感知安全装置が働いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1ページの「圧力感知安全装置が作動したときの処置方法」に従って復帰させてください。
<ul style="list-style-type: none"> ■容器(ボンベ)が装着できない。装着してもすぐ外れてしまう。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 保管場所の温度が高く、容器(ボンベ)の温度が高くなり、圧力感知安全装置が働いています。 2) マグネットに異物が付着しています。 3) 器具せんつまみが「消」になっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1ページの「ボンベ装着時のご注意」に従って異物を取り除いてください。 ●器具せんつまみを「消」方向に止まるまで戻してください。
<ul style="list-style-type: none"> ■点火ミスにより繰り返して点火操作をした場合に「ポッ」という音がして少し炎が上がる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。そのままお使いください。※点火操作を行う場合は、顔や手をバーナーに近づけないでください。
<ul style="list-style-type: none"> ■消火時に「ポッ」という音がする。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。
<ul style="list-style-type: none"> ■購入してから初めて使用すると電極の周りの炎が赤くなる。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●数回使用すると赤い炎は消えます。そのままご使用ください。

5. アフターサービス

■サービス(修理、点検)を依頼される前に

- ① 6ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」「このような時は故障(異常)ではありません」の項目をみてもう一度ご確認ください。
- ② 正しいご使用にもかかわらず、万一故障した場合は、お買い上げの販売店、お客様相談室または下記の岩谷産業にお問い合わせください。

お客様相談室  フリーダイヤル 0120-156269
FAX 03-5405-5637

月曜～金曜 9:00～17:15
(祝日、弊社休業日を除く)
携帯電話、PHSからはつながりません。

アフターサービスをお申しつけのときは、つぎのことをお知らせください。

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 商品名、型式名(本体銘板のもの)
- 不具合内容(できるだけ詳しく)
- ご購入日

■保証について

- ① 本製品には「保証書」がついています。保証書はお買い上げの販売店で発行しておりますので、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入されていることを確認して、お受け取りください。所定事項の記入がないと無効となりますので、記入がないときはお買い上げの販売店に申し出てください。
- ② 万一、故障した場合は、保証書の記載内容により、保証期間内は無償修理いたしますので、大切に保管してください。
- ③ 保証書に記載されている無償修理規定以外は無償にはなりません。

■補修用性能部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は製造打ち切り後、5年間保有します。

部品ご購入の窓口 TEL.048-812-8361 受付:月曜～金曜 9:00～12:00 13:00～17:00(祝日、弊社休業日を除く)
イワタニサービスセンター 〒339-0073 埼玉県さいたま市岩槻区上野 6-3-1

部品名称	しる受けトレイ(水皿)	焼網	輻射板	ユニット	串焼きステー(2本セット)
希望小売価格	¥1,000(税抜き)	¥600(税抜き)	¥600(税抜き)	¥1,000(税抜き)	¥340(税抜き)

*別途送料及び消費税がかかりますので、ご了承ください。 *部品の名称は1ページをご参照ください。 *ユニットと串焼きステーは別部品です。
*部品価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

★保証書をご提示の上、アフターサービスをお申し込みください。

保証書

炬ばた大将 炙家(あぶりや)W

型名	CB-RBT-W	製造番号	お名前
保証期間	一年	お買い上げ日 □年□月□日～□年□月□日まで	ご住所
取扱販売店・住所・電話番号			お電話 ()
<p>取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。</p> <p>保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、商品と本書をご持参ご提出の上、お買い上げ販売店(修理申出先)に依頼してください。</p> <p>ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、下記の岩谷産業へご相談ください。</p> <p>保証期間内でも次の場合には有償修理になります。 (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害による故障及び損傷 (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷</p>			<p>本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。</p>

Iwatani 岩谷産業株式会社

〈無償修理規定〉

- 1 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
- 2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、商品と本書をご持参ご提出の上、お買い上げ販売店(修理申出先)に依頼してください。
- 3 ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、下記の岩谷産業へご相談ください。
- 4 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害による故障及び損傷
(ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
- 5 (ホ) 保証書の提示がない場合
- 6 (ヘ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて本製品の無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の岩谷産業にお問い合わせください。

岩谷産業株式会社 カートリッジガス本部

〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 電話 03(5405)5615
お客様相談室: フリーダイヤル 0120-156269
受付: 月曜～金曜 9:00～17:15(祝日、弊社休業日を除く)